

平成30年11月5日

(あて先) 熊本市長

団体名 NPO法人ディスカバリーくまもと
代表者 職名 理事長 氏名 野田恭子



熊本市市民公益活動支援助成金実績報告書

平成30年4月1日付け指令(地活)第1-8号により、熊本市市民公益活動支援助成金の交付決定を受けました事業の実績について、熊本市市民公益活動支援基金実施要綱第20条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり報告します。

記

1 助成事業名

熊本城を訪れる外国人を英語でガイドする為の次世代講座

2 助成事業の実施期間

平成30年4月1日 ～ 平成30年10月31日

3 助成事業の内容

熊本市内の高校生34名を対象に、熊本城、加藤神社を英語でガイド出来るように国際交流会館と現地で計7回の講座を実施。

4 事業の成果

最終日9月9日の発表会では、生徒達が素晴らしい英語でガイドしていただき、参加した保護者の方々、外国人ゲスト2名からも絶大な評価をもらった。マスコミからはKKT(熊本県民テレビ)から取材を受けた。

5 助成事業の実施状況

- (1) 事業収支決算書(様式第16号)
- (2) 事業の経過又は成果を証する書類等
- (3) その他参考となる資料

事業報告書

実施年度	平成30年度
事業名	熊本城を訪れる外国人を英語でガイドする為の次世代講座
事業期間	平成30年 4月 1日 ～ 平成30年 10月 31日
事業の目的	2019年の女子ハンドボール世界選手権大会とラグビーワールドカップが熊本で開催され、また2020年の東京オリンピックと多くの外国人が熊本の観光地を訪れると思います。海外からのゲストやツアーリストを英語でガイドできる若者を育成するため平成30年度は熊本市内の高校生(34名)を対象に「生きた英会話」ができるガイドを養成することを目的としました。高校生たちが熊本市の活性化に主体的に貢献するとともに熊本の観光復興に貢献できるようサポートする。
具体的な 事業内容	平成30年4～6月 ・ 講座の打合わせ 6/17, 7/15 当会 14名参加 ・ 高校との打合わせ 6/15, 6/25 当会 3名参加 ・ チラシ作成打合わせ 5/22 当会 2名参加 ・ ガイド講座、講師7名、サポート講師7名。 ・ 7/29(日) 第1回講座 午前10～12時 生徒30名参加 ・ 国際交流会館での熊本城についての講師による講話、その後生徒と一緒にガイド箇所を巡回。 ・ 8/5(日) 第2回講座 29名参加 ・ 日本語のガイド文作成と、生徒たちが調べてきた英文を出し合いガイド文作成。 ・ 8/12(日) 第3回講座 33名参加 ・ 英文を講師が最終的に仕上げ、読み合わせを行う。 ・ 8/19(日) 第4回講座 32名参加 ・ 出来上がった皆さんのガイド文をもとに、本番に向けたガイド練習(外が猛暑で暑かったので)会館のなかで行う。 ・ 8/26(日) 第5回講座 30名参加 ・ 30分会館で、挨拶から受け渡しまで通して練習、その後二の丸広場へ移動自分のガイド場所で反復練習。 ・ 9/2(日) 第6回講座 33名参加 9/9の本番に向けてのリハーサル。立ち位置、声量、ガイドの注意事項を確認、外国人ゲストも1名参加アドバイスをいただく。 ・ 9/9(日) 第7回最終発表会 34名参加 小雨であったが、ガイドするには支障はなかった。 生徒の保護者約15名、外国人ゲスト2名、私達会員25名に対し熊本城、加藤神社を生徒全員でそれぞれ英語でガイドを行う。 そのあと、交流会館に戻り当会野田理事長より「英語の修了証書」を生徒全員に授与。外国人ゲスト2名からアドバイスをいただく。 生徒たちの素晴らしいガイドに評価をいただく。12時30分終了。

実施場所	市内国際交流会館と熊本城、加藤神社
事業の効果 ・公益性	この事業に参加した高校生たちが、熊本で開催される世界的スポーツ競技大会などに積極的に支援し、また熊本で開催される国際会議などへもサポーターとして参加でき、熊本から世界に発信できる力をつけ、グローバルに活躍できる若者が育つと思います。ひいては世界に向けての熊本の観光復興にも貢献します。
次年度以降の 事業展望	次年度以降はこの事業に参加した高校生を定期的にフォローアップする事業を企画するとともに、熊本市内の小中高生たちへ、同様な講座を開き、熊本市の若者たちがグローバルな視点を持てる大人に育つような講座などを展開したい。
事業への思い (当事業によってどのような熊本市にしていきたいか)	この事業は、復興中の熊本城を世界に発信するのみならず、講座を受けた高校生が将来ガイドのスペシャリストとなり、世界に向けての観光促進事業に貢献できるように育成することで、世界に誇れる「観光立市熊本」にしたいと思います。

様式第16号(第20条関係)

事業収支決算書

項 目		金 額 (円)	内 訳
収 入	自己資金	85,059円	会費
		5,000円	その他の自己資金
	市民公益活動支援助成金	170,000円	当該事業に対する助成希望額
	その他の補助金・助成金		
	計	260,059円	
支 出	助成対象経費	人件費	スタッフ人件費 1、当会打合せ 2回×14名×1000円 2、チラシ打合せ 1回×2名×1000円 3、学校との打合せ 2回×3名×1000円 4、ガイド講座 講師7回×7名×1000円 サポート講師7回×7名×800円
		報償費	講師謝礼金 1名 10,000円 ゲスト謝礼 2名 25,000円
		役務費	郵送 切手代8554円
		使用料・賃借料	国際交流会館借用 7回
		事務費	講座用テキスト印刷27,956円 募集用チラシ印刷7,850円 修了証書3024円封筒代540円 事務用消耗品等 他4,727円
		委託費	全コース英文テキスト(最終) 50部 印刷
		小計	
		260,059円	
	対象外	飲食代	0円
		小計	0円
		計	260,059円